

情報発信ステーション

第123号



社会医療法人 緑社会
金田病院

● みどり訪問看護ステーション
● 指定居宅介護支援事業所みどり

公益財団法人 日本医療機能評価機構認定病院・人間ドック健診施設機能評価認定施設
公益社団法人 日本人間ドック学会
〒719-3193 岡山県真庭市西原 63
TEL (0867) 52-1191(代) FAX (0867) 52-1917
http://www.kaneda-hp.com

新任医師のご紹介



コンシエルジュ細田麻衣子
がインタビュしました。



内科
池田 直人医師
(平成 29 年 1 月 1 日着任)

専門医資格
総合内科専門医
血液専門医

Q1 真庭市の第一印象を教えてください。

A1 金田病院には非常勤医師として5年前に1年間勤務していましたが、真庭のあたたかい地域性が印象的でした。患者さんも職員の皆さんも気持ち良く挨拶してくださり、院外では小中学生が見ず知らずの私にも笑顔で挨拶してくれました。島根県隠岐の島出身の私にとって、故郷を思い出させる懐かしい日常の光景でした。

Q2 地域医療へのお気持ちを聞かせてください。

A2 これまでは主に血液専門医として診療してきました。元々地域医療にも関心があった私にとって、大学時代に教官として指導してくださった水島院長や、金田病院で出会った先生方の影響は大きいものでした。地域医療に携わりたいとの思いが一層強くなり、このたび金田病院での勤務を希望しました。自宅から離れた大病院ではなく住み慣れた地



域で皆さまが安心して療養できるよう、幅広く総合的に診療できる医師を目指します。

研修修了にあたって



看護部長代理
長尾 由美子
(平成 29 年 2 月 1 日就任)

Q1 どのような研修ですか。

A1 認定看護管理者教育課程サードレベルの研修です。看護協会の研修で、ファースト・セカンド・サードの3レベルがあり、サードレベルを修了すると認定看護管理者の審査を受けることができます。

Q2 なぜ目指したのですか。

A2 院内における私の役割の変化が一つのきっかけとなり、病院・地域全体へ目を向けることが求められるようになりました。社会情勢が刻々と変化し、人口減少・高齢化が進む地域の中で、当院が果たすべき役割を考えるには広い視野と管理的な知識と考え方が必要だと感じました。平成28年度から岡山県で研修が受講できるようになったこともありがたかったです。



支援が必要になります。その中で看護部はもとより、当院全体での役割を果たしていきたいと思っています。看護管理の研修で学んだことを活かして、地域の医療機関・施設・訪問看護ステーション等と連携した持続可能なシステムの構築や看護職を目指す皆さまの教育支援に少しでも貢献できればと考えています。

今月の地域医療研修医師 (五十首順)



岡山医療センター
研修医
むいほら 史織



川崎医科大学総合医療センター
研修医
いし 克憲

今月の学生実習 (五十首順)

- 岡山県立真庭高等学校 専攻科 11名
- 岡山大学 医学部 2名
- 岡山情報ビジネス学院 医療福祉事務学科 1名
- 川崎医科大学 医学部 1名
- 神戸薬科大学 薬学部 薬学科 1名
- 新見公立大学 看護部 看護学科 11名
- ハーベスト医療福祉専門学校 理学療法学科 1名

平成 29 年の標語 「繋がる心 繋がる地域 繋がる未来」

緑社会の理念
金田病院の理念
金田病院の基本方針

- 奉仕・仁愛・誠実・研鑽・調和
- 医療を通じて地域社会と職員の幸福に貢献します
- 安全で良質な医療を提供します
- 期待される役割を果たします
- 連携を一層推進します
- 職員が笑顔で働ける病院を目指します

